

議題（3）平成23年度事業報告及び収支決算について

1. 平成23年度地域公共交通活性化協議会事業報告

（1）会議の開催

○協議会

- ・平成23年5月31日～平成24年3月28日まで4回開催

○分科会

【市民部会】

- ・平成23年6月13日～平成24年3月2日まで4回開催

【専門部会】

- ・平成23年6月15日～平成24年3月16日まで3回開催

（2）事業の実施又は指示

○別紙1のとおり

（3）国等の手続き

○別紙2のとおり

事業・指示事業実施結果一覧表

重点施策		実施・指示別	相手方	事業費(円)			実施結果	
				協議会負担	事業者負担	合計		
オレンジゆずるバス交通の整備	オレンジゆずるバスの運行【リーディング事業】	①バス車両購入	実施	阪急バス(株)	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度に7台車両購入済 抜本的見直し後、3 ルートで 6 台を常時運行 予備車両を遅延対策車として適宜運行
		②バス停設置	実施	阪急バス(株)	9,941,288	0	9,941,288	<ul style="list-style-type: none"> 抜本的見直しに伴うバス停標柱更新 ⇒表記内容の貼替え 114 本、新規バス停 39 本、撤去バス停 29 本 箕面駅、市立病院において行き先別にバス停標柱を追加
		③実証運行	実施	阪急バス(株)	86,189,716	0	86,189,716	<ul style="list-style-type: none"> 軽微な見直し運行(5~8月)⇒抜本的見直し運行(9月~) 抜本的見直し運行の状況 ⇒輸送人員 平均 934 人/日(需要予測 906 人/日) ⇒収支率 31.8%(目標値 50%)
		④評価・見直し	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	6,111,000	0	6,111,000	<ul style="list-style-type: none"> OD 調査(12月) 市民アンケート調査(12月):配布数 2,000、回収率 50.3% バス利用者アンケート(12月の2日間):配布数 1,295、回収率 53.0%
路線バスとオレンジゆずるバスとの連携		⑤路線バスとの共通利用(バス停の共通化、カードシステムの共通化)	実施	阪急バス(株)	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度にバス停、カードシステムの共通化整備済 57 箇所のバス停位置を共通化 阪急バスカード、はんきゅうランドバス、阪急スクールバスを共通利用(収入の 32.6%)
		⑥箕面山麓線(路線バス)と青ルート(東部北循環)(オレンジゆずるバス)との役割分担	指示	阪急バス(株)	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度に箕面山麓線のルート及びダイヤ調整済 箕面山麓線は箕面駅へのフィーダー路線、青ルート(東部北循環)はローカル路線として運行 箕面山麓線のダイヤを考慮して見直し運行のダイヤを設定。
		⑦乗り継ぎ割引の導入	指示	阪急バス(株)	190,000	575	190,575	<ul style="list-style-type: none"> 一般で 100 円割引、小児・70 歳以上の高齢者、障害者は 50 円割引。 オレンジゆずるバスから箕面森町線への乗り継ぎ割引利用者数:153 人(抜本的見直し運行開始後)
		⑧競合路線における対応	指示	—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 実証運行前 競合路線 OD 調査:1回(平成 22 年度) 実証運行後 競合路線 OD 調査:5回(平成 22 年度) 平成 23 年度未実施
鉄道とオレンジゆずるバスとの連携		⑨交通案内所の設置	指示	阪急電鉄㈱	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度に阪急箕面駅舎の一部に設置済 交通・観光案内所内に設置された電子看板によりバス運行情報などを提供
		⑩イベント・キャンペーンの共同開催	指示	—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 交通・観光案内所の開設イベント、オレンジゆずるバスの紹介(平成 22 年度) 平成 23 年度未実施

重点施策		実施・指示別	相手方	事業費(円)			実施結果	
				協議会負担	事業者負担	合計		
公共交通の利用促進	ハード整備による利用促進	⑪主要なバス停でベンチ・上屋の設置	実施	—	—	—	・市役所前、松寿荘前にベンチ・上屋を設置(平成 22 年度) ・市立病院にベンチを設置(平成 22 年度) ・平成 23 年度未実施	
		⑫車両のラッピング、アート塗装	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	304,500	0	304,500	・バス 7 台それぞれにコンセプト設定 →滝ノ道ゆずるとモミジヌのキャラクターのシールを貼り付け
		⑬運行情報の提供 (バスロケーションシステムの変更等)	実施	阪急バス(株)	2,200,824	0	2,200,824	・抜本的見直し後にシステムを更新 ⇒ケータイのアクセス数 4,369 回/日、PCでのアクセス数 22,349 回/日 ・箕面駅の路上、かやの広場に追加設置
				(株)ケイ・オプティコム	3,748,500	0	3,748,500	
	⑭自転車駐輪場の整備	指示	—	—	—	・平成 22 年度に箕面駅西側駐輪場整備済		
	情報による利用促進	⑮バスマップの作成・配布	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	8,127,000	0	8,127,000	・抜本的見直し後に情報更新⇒市内全戸(約 60,000 世帯)に配布 ・認知度:運賃 78.9%、最寄りのバス停 69.7%、ルート・行き先 46.2%、誰でも乗れる 82.2%
		⑯まちの魅力を発信する情報誌とのタイアップ	指示	—	—	—	・平成 22 年度に3回実施済 ・阪急電鉄(株)情報誌トックに掲載(600,000 部)	
		⑰モビリティ・マネジメント(MM)の実施	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	2,751,000	0	2,751,000	・乗り方の冊子を市内全戸(約 60,000 世帯)に配布
				指示	大阪大学	—	—	—
		⑱住民主体の公共交通への利用啓発運動	指示	箕面如意谷住宅自治会	—	—	—	・箕面如意谷住宅自治会 ⇒情報誌に 4 回掲載(約 600 世帯に配布)、A3ポスターの掲示(自治会内 6 箇所)
		⑲商業施設等のホームページ・チラシにバス情報の掲載	指示	箕面商工会議所	—	—	—	・ヴィソラのホームページにエコショッピング制度、オレンジゆずるバスの情報を掲載
	連携による利用促進	⑳エコショッピング制度の導入	指示	—	—	—	・ヴィソラと連携:2000 円以上の買い物で帰りに回数券を進呈 利用枚数:1,424 枚(平成 23 年 4 月~平成 24 年 2 月)	
		㉑商業施設とタイアップしたクーポン付き乗車券の発売	実施指示	—	—	—	・平成 23 年度未実施	
		㉒自治会・各種団体等による回数券の購入	指示	—	—	—	・平成 23 年度未実施	
		㉓バス車内でのミニパブリックスペースの設置	実施指示	—	—	—	・平成 23 年度未実施	
	イベント等による利用促進	㉔愛称の募集	実施	—	—	—	・平成 22 年度に募集済、右記の愛称とロゴを使用 	
		㉕ノーマイカーデー(マイバスの日)の実施	指示	—	—	—	・平成 23 年度未実施	
		㉖運行開始にあたってのセレモニーの開催	実施	—	—	—	・平成 22 年度運行開始時に実施済	
		㉗スタンプラリーなど参加型イベントの開催	指示	—	—	—	・NPO「みのおの交通を考える会」がスタンプラリーを実施(平成 22 年度) ・平成 23 年度未実施	
		㉘利用促進のためのキャンペーン	実施	㈱セレスポ大阪支店	—	—	—	・回数券・定期券の購入、または 10 回乗車で、ブルバックカー付ボールペンをプレゼント
その他	㉙バス停標柱における情報提供	実施	—	—	—	・乗車バス停と主な降車バス停までの標準所要時間の情報を提供		
	㉚見直しによる変更内容の周知活動	実施	—	—	—	・新たに設置されたバス停(かやの中央西側)の周知や利用促進のためにパンフレットやうちわを配布		
	㉛箕面まつりとの連携	実施	—	—	—	・箕面まつりの際に、専用ブースを設置し、チラシ、うちわなどを配布		
	㉜無料体験乗車の実施	実施	中央復建コンサルタンツ㈱	136,500	0	136,500	・箕面まつりから帰宅時間帯を対象に、各地域への体験乗車を実施(乗車数 114 人) ・無料お試し乗車券の配布:成人祭 850 枚、子ども健診等 300 枚、 こども会 1,550 枚、市内幼稚園 2,100 枚(乗車数計 205 人)	
阪急バス(株)			105,000	0	105,000			
				119,805,328	575	119,805,903		

平成23年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金に係る経過措置)

	重点施策	契約名	協議会から国への交付申請	交付決定	完了実績報告	額確定通知
②	バス停設置	バス停標柱設置等委託契約書	平成23年 4月1日	平成23年 4月1日	平成24年 4月3日	平成24年 4月9日
④	評価見直し	オレンジゆずるバスの実証運行に伴う運行計画評価・見直し業務委託				
⑮	バスマップの作成・配布	オレンジゆずるバスの実証運行に伴う利用促進施策実施業務委託				
⑰	モビリティ・マネジメント(MM)の実施	オレンジゆずるバスの実証運行に伴う市内全域のモビリティ・マネジメント実施等業務委託				
⑳	無料体験乗車の実施	箕面まつりオレンジゆずるバス体験乗車イベント実施業務委託				
		オレンジゆずるバスのお試し乗車券作成業務委託				

平成23年度箕面市社会資本整備総合事業費補助金

	重点施策	契約名	協議会から市への交付申請	市から協議会への交付決定	協議会から市への実績報告	市から協議会への交付確定通知
②	バス停設置	バス停標柱標記変更等委託	7月21日	7月22日	10月3日	10月4日
		バス停標柱休止・撤去委託	8月3日	8月3日	10月4日	10月5日
③	実証運行	オレンジゆずるバスの実証運行业務	4月1日 (当初)	4月1日 (当初)	3月31日	3月31日
			8月18日 (変更)	8月21日 (変更)		
⑦	乗り継ぎ割引の導入	乗り継ぎ割引の導入(箕面森町線との乗り継ぎ割引) (事業指示)	8月18日	8月19日	9月13日	9月14日
⑫	車内のラッピング、アート塗装	オレンジゆずるバス車内装飾業務委託	8月3日	8月3日	9月1日	9月2日
⑬	運行情報の提供 (バスロケーションシステムの変更等)	オレンジゆずるバスに係るバスロケーションシステム変更等業務委託	4月1日	4月1日	3月31日	3月31日
		箕面市公共交通等案内電子看板システム改修業務委託	6月20日	6月22日	2月1日	2月6日

2. 平成23年度地域公共交通活性化協議会収支決算

(1) 収入

(単位：円)

科 目	当初予算額	第1回補正予算額	第2回補正予算額	現計予算額	決算額	説 明
1 負担金	1,073,000	9,971,000		11,044,000	11,044,000	箕面市
2 補助金	118,000,000	9,971,000	-12,000,000	115,971,000	109,830,000	
	118,000,000	0	-12,000,000	106,000,000	99,859,000	箕面市補助金 99,859,000 (社会資本整備総合事業費補助金 ：国交付金＋市負担) ・実証運行経費、利用促進等
	0	9,971,000	0	9,971,000	9,971,000	国庫補助金 9,971,000 平成23年度地域公共交通確保維持改善事 業費 補助金(地域公共交通活性化・再生 総合事業費 補助金に係る経過措置) ・利用促進等
3 繰越金	0	258,167	0	258,167	258,167	
4 雑入	0	0	0	0	919	預金利子
合 計	119,073,000	20,200,167	-12,000,000	127,273,167	121,133,086	

(2) 支出

(単位：円)

科 目	当初予算額	第1回補正予算額	第2回補正予算額	現計予算額	決算額	説 明
1 会議費	211,000	0	0	211,000	141,500	学識経験者委員謝礼、会場使用料等
2 事務費	862,000	0	0	862,000	854,350	郵便代、高齢者運賃割引証発行、事務用品 購入等
3 事業費	118,000,000	19,942,000	-12,000,000	125,942,000	119,805,328	・事業実施委託料(実証運行、バス停設置等) ・事業指示負担金(利用促進等)
4 予備費	0	258,167	0	258,167	0	
合 計	119,073,000	20,200,167	-12,000,000	127,273,167	120,801,178	

(3) 収支

収入合計：121,133,086 円

支出合計：120,801,178 円

収支残額： 331,908 円

収支残額331,908円は、平成24年度に繰越す。

監 査 報 告

平成24年5月23日、箕面市地域創造部会議室において、平成23年度箕面市地域公共交通活性化協議会の収支決算書及び関係書類等を監査したところ、監査に付された決算、書類等は正確でありましたので報告します。

平成24年5月23日

箕面市地域公共交通活性化協議会

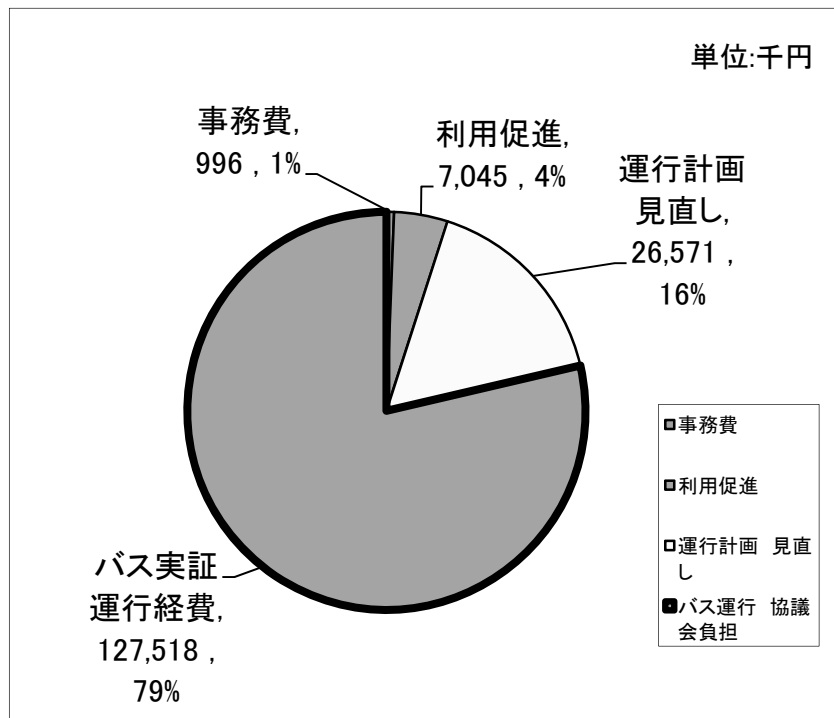
監事 清 田 栄 純



松 出 末 生

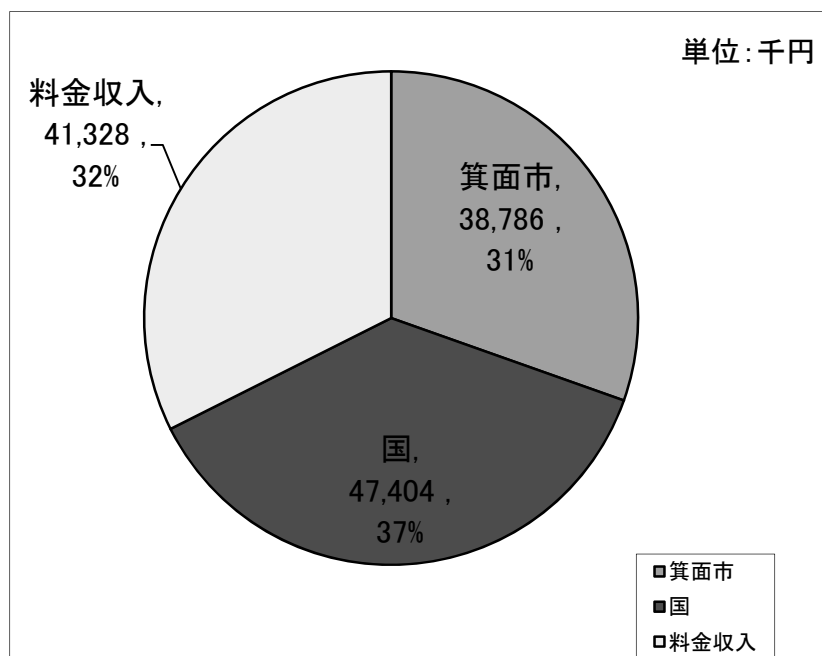


1.平成23年度事業費【120,802千円+41,328千円=162,130千円】



2. 実証運行経費【127,518千円】

内訳 { 協議会負担(国+市)86,190千円
 国 : 55%
 市 : 45%
 料金収入 41,328千円



- 今後、本格運行に向けた（国の補助がなくなる）費用負担のあり方やサービスレベルのあり方について考えていくことが当面の課題となる。